

コミュニティコーナー Community Corner

今回、英語の筆記体を紹介したいと思います。まず筆記体ってなんだろうと思う人は多くいると
思うので簡単に説明する。筆記体とは、すべての文字がつながっていて、ペンが紙から
離れない英語の筆跡の一種である。

こんな感じです。

My name is Jake and I am from Australia.

英語圏では筆記体がすごくおしゃれで書道のようなものである。国によるが、オーストラリアでは
小学校の頃から筆記体を習い始める。筆記体はとてもフォーマルなイメージがあるので日常的に
使われていない。ジェイクの祖父母と同年代の人たちは普段使うけど、若者たちはほとんど使わない。

今の時代、筆記体はあくまで芸術の一つ。手書きの手紙やお詫び状を書く時に使います。ネイティブ
じゃない人に筆記体で手紙をもらったら、間違いなく驚き、感心される。

下記のクリッシー単語をなぞってみてくださいね

このQRコードから筆記体の例が
見られるので、参考として使ってくださいね



参考文献

1. Cricket Info <https://cricket.or.jp/about-cricket>
2. Irasutoya <https://www.irasutoya.com/>



あっちこっちタイムズ

京丹後市教育委員会事務局
国際交流員 (CIR) ジェイク
令和 4年 12月 Vol. 6

Merry Christmas!



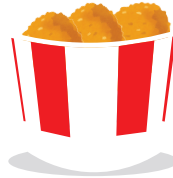
12月号



オーストラリアのクリスマスはこんなに違いマス Chrissie in Australia



オーストラリア人は日本人と同じく言葉を短くするのが大好きだよ。オーストラリアンスラッグではクリスマスのことをChrissie(クリッシー)と言う。さらにChristmas presentはChrissie prezzieになる。国によりクリッシーの習慣が違うから、例えば日本の皆さんはケンタッキーを食べると初めて聞いたときすごくびっくりした。オーストラリアも独特な習慣があるからいくつか紹介したいと思います。



1) Leaving out cookies and milk for Santa and carrots for his reindeers.

サンタさんとトナカイは12月24日にみんなの家を訪れることになっているよね。クリスマスイブにはオーストラリア人はサンタさんとトナカイが大忙しだろうと考え、エネルギーを補給できるように牛乳、クッキー、にんじんを用意し、台所のテーブルの上に置いておく。

2) Driving around to see the neighbourhood Chrissie lights.

オーストラリアでは多くの人が家の外壁と庭をイルミネーションで飾る習慣がある。12月に多くの人が車に乗って、近所を回りながらそれを見る。



3) We eat an Australian Chrissie dessert called 'Pavlova'.

クリスマスの時、パブロバを必ず食べる。パブロバとはオーストラリアの伝統的なデザートである。小麦粉やバターを使わないため一般的なケーキ類に比べて低カロリー。泡立て、焼き、トッピングするというシンプルな工程。また特別な材料や調理器具がいらないので家庭で簡単に可愛いパブロバが作れる。

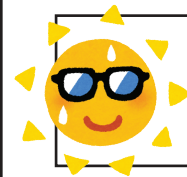


4) We play backyard cricket with family and friends.

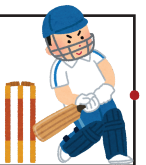
お庭で家族や友達とクリケットをするのがとてもオーストラリアっぽくて人気である。そういえば、日本ではクリケットはあまり馴染みのないスポーツだから次のページにできるだけルールや魅力を簡単にまとめる。



うらにわ裏庭クリケットはこんな感じだよ！
QRコードから見られるよ。
興味ある人はぜひ見てね！



多分聞いたことがない大人気スポーツ The most popular sport you've probably never heard of



スポーツを見るにもやるにも、まずは基本から！

クリケットが盛んな国

主に英連邦諸国。オーストラリア、ニュージーランド、インド、パキスタン、バングラディッシュ、カリビアン、南アフリカなど。

面白いことに競技人口はサッカーに次いで世界第2位と言われている。

クリケットの基本スキル

1. Batting バッティング (バットでボールを当てる)

2. Bowling ボーリング (ボールを投げる)

3. Fielding フィールディング (コートの外にいてボールが来たときにキャッチしたり投げる)

試合の進め方

試合は1チーム11人の2チームで行い、それぞれが交互に守備(投げる)と攻撃(打つ)を1回ずつ行う。攻撃側はボールを打って得点を稼ぎ、守備側はボールでウィケットを倒してアウトを取る。守備側が規定投球数を投げ切ったか、攻撃から10アウトを取ったところで攻守交代である。後攻が逆転した時点か、試合終了時に得点が多いチームが勝ちとなる。

